

平成28年度
自己点検評価 報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

1 学校の教育目標

本校は「何処の場にあっても なくてはならぬ人となれ」という建学の精神のもと、先進的な工業技術を座学、実習の両面から徹底的に指導するとともに、豊かな教養を身につけ、企業の即戦力となる責任感旺盛な人材の育成を目標とする。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成28年度では、以下について重点的に取り組み教育を行った。

(1) 自動車学科

- ・ 二級自動車整備士5年連続100%を目指し、早期の意識付けを徹底します。
- ・ 就職率を昨年に続き100%達成するために、1年次夏季休業中より会社説明会の参加を指導します。
- ・ 企業から求められる人材教育を、外部講師を招いて授業に取り入れます。

(2) エアポートサービス学科

- ・ 航空業界において必要な資格取得や即戦力として活躍できる知識と技術を身につけ就職試験対策としての基礎学力の向上を図る。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
学校における職業教育の特色を持っているか	4	3	2	1
社会経済のニュース等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

自動車整備士養成校として、整備の基礎は勿論のこと電気・電子といった高度な技術に対応する技術者を育成することが必要とされる。また、航空産業界では、オリンピック開催を控えLCCの増便などの環境により、訪日外国人観光客はさらに増加しており、空港で活躍する空港地上支援業務員の必要性が高まっている。本校としては、真に即戦力となりうる質の高いグランドハンドリングスタッフの育成が課

題となる。

② 今後の改善方策

日々進歩する自動車業界に対応するため、職業実践専門課程の特色を活かし最新の実務に関する知識・技術・技能等を習得させるよう関係業界団体との連携を更に深める必要がある。エアポートサービス学科においては、座学と就職後の修業に直結する実習の質の確保に努めつつ、国際化にも対応した人材づくりを図ることが必要となる。併せて、社会人として求められるコミュニケーション能力向上に向けての取り組みは継続して実施する。

学校理念等の周知については、ホームページ・文書等を利用し、これまで以上にあらゆる機会を使って周知を図ることに努めていく。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④ 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	④ 3 2 1
人事等に関する規定等は整備されているか	4 ③ 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
システム化等により 業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

意思決定機能の各委員会については、方針決定事項等についての全体説明が不足しているところがある。

② 今後の改善方策

職員会議において、各部門・テーマごとに検討会議を開催し充実を図る。

教育活動等の情報公開は、ホームページの管理システムの充実により、発信の強

化に努める。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、人材育成や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	③	2	1

職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
------------------------	---	---	---	---

① 課題

専門分野における資質の向上並びに全職員に対する能力開発等の研修が必要である。

② 今後の改善方策

両学科とも関係団体・企業等が開催する各種研修・勉強会に引き続き積極的に参加させる。また、全職員に対しては、様々な学生に対する指導の在り方など指導力の向上に直結する内容等を選定し研修会を実施する。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

資格取得（受験者数・合格率）に対する対策が必要である。

卒業生の活躍・評価の把握は、十分とは言えない。

② 今後の改善方策

退学者（経済的理由など）が発生したが、クラス担任をはじめ教職員一同、これまで同様の個人面談、家庭訪問などを重視し、早期に問題と向き合い家族との連携強化を図る以外の方策はないと信じ継続し取り組んで行く。

資格取得については、採用試験時のアピールは勿論のこと、その必要性について理解させ、学生自らが積極的に受験する態勢を構築する必要がある。この際、集中講義などを開催し、意欲的な取得と合格率のアップを図りたい。

卒業後の把握については、企業訪問時を活用し把握に努めることが可能と思われる。

るので、取組みの第一歩にしたい。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
卒業生へのアフターフォロー（支援体制）はあるか	④ 3 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

女子学生など含め相談体制の確立が求められる。

② 今後の改善方策

学生相談は、担当の女子職員 2 名を配置しているが、クラス担任との連携を深めるなど体制づくりを確立させる。

キャリア教育等に関しては、体験授業及び出前授業の受入れも公表しており、一部の学校とは連携しているものの更に拡充を図りたい。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう 整備されているか	④ 3 2 1

学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

エアポートサービス学科の海外研修については、昨今の国際情勢を鑑みて見直しが必要ではないか。

② 今後の改善方策

日本最大の利用者数を誇る東京・成田国際空港の空港見学会等に変更を検討する。

(7) 学生募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
校納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

昨年以上の学校訪問を実施したが両学科ともに昨年を下回った。オープンキャンパス参加者が出願に繋がっていない現状を改善していくことが必要となる。過年度生の獲得も同様である。2018年問題もあり、前に進む募集活動を展開していくことが課題となる。あわせて、ホームページの改修にも取り組まなければならない。広報としては、マスメディアに取り上げられた回数も増してPRは効果的であったと思われ、引き続き報道各社との連携に努めたい。

② 今後の改善方策

資料請求者、各ガイダンス等での対象者へのアプローチの在り方などを検討し、特色のあるオープンキャンパスに繋がる対策を具体化する。本校の特色・魅力をHP上でアピールできる強力なホームページを作成する必要がある。限られた予算の中で、より効果的な募集広報を全職員一丸となり、新卒・過年の学生獲得に向けて積極的な募集広報活動に取り組む。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適切に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

入学者が財務に直結することから、全職員の課題として学生募集に取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

入学者の確保が財務の基盤であることを強く認識し、定員確保に向けた活動が財務基盤を安定させる。また、経費削減の取組みは継続して実施する。

財務については学校法人において監査並びに財務公開まで適切に行われている。

(9) 法令等の順守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1
法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

法令や設置基準は遵守されており、適正に運営されている。また自己評価に関しては、公開まで適切に行われており特に問題はない。

② 今後の改善方策

自己点検評価については、問題点の改善に取り組むことに重点を置くことが、重

要となる。

平成28年度
学校関係者評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

1. 学校関係者評価の目的

学校法人江楠学園佐賀工業専門学校における学校関係者評価は平成19年に学校教育法及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価、学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規程が新たに設けられたことを受け「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って以下のことを目的として実施する。

- ① 自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性と併せて信頼度を高める。
- ② 学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校、保護者・地域住民、所轄官庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方々からの理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

2. 学校関係者評価委員の構成

学校評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・ 関連業界等関係者 4名
- ・ 教育に関し知見を有する者 1名
- ・ 卒業生 1名

3. 学校関係者評価の実施方法

平成29年5月17日（水）

佐賀工業専門学校 多目的室

参加者 委員6名 事務局6名

学校関係者評価委員の皆さまには、本校のホームページ上で公開されている学校情報等で事前に理解を深めていただいたうえで、平成28年度自己評価の結果をもとに、意見交換を通して得られた意見を取りまとめた。

4. 学校関係者評価委員からの意見並びに特記事項

(1) 教育理念・目標

特記事項：

- ・ 高度の技術を求められる自動車学科においては、関係業界団体との連携の強化が必要である。
- ・ 即戦力のエアポートサービス学科においては、座学と実習の充実に努めていく。(校内での実習ができる環境を活かす。如いては卒業生の自信となる。)
- ・ 学校理念を継続して周知していくことが求められるが、評価としては向上している。

委員からの意見：

- ・ 少子高齢化に伴い人材不足になっている。当初は第二種養成施設での資格取得者の採用であったが、近年のディーラーは専門学校卒業者を採用している。それでも整備士を目指す生徒の減少並びに充足しない現状は、整備業界全体の労働環境が原因なのか危惧している。

(2) 学校運営

特記事項：

- ・ 意思決定機能（各委員会）の充実を図るため職員会議の中で各部門からの報告事項など取り入れ周知を図る。
- ・ ホームページ等の改修で充実を図り、引き続き情報公開に努める。

委員からの意見：特になし

(3) 教育活動

特記事項：

- ・ 専門分野の資質向上並びに多様な学生指導方法に繋がる研修会等を開催することでステップアップを図る。
- ・ ホームページの充実を図りつつ引き続き情報公開に努める。

委員からの意見：

- ・ 現状に満足しないで、常にステップアップする教育活動を続けてほしい。

(4) 学習成果

特記事項：

- ・ 資格取得で危険物乙4の受験者数と合格率の向上に向けた対策を構築する必要がある。
- ・ 退学者の低減策としては、引き続き緊密な保護者との連携を重視し取り組む。

委員からの意見：

- ・ 就職率の向上が図られているとの評価がありますが、求人ほどの程度ありますか。
- ・ 資格取得率は、学校選択の指標となるので今後の改善を期待したい。

(5) 学生支援

特記事項：

- ・ 女子学生の相談体制（担任・相談担当職員との連携）を確立する。
- ・ 女子生徒の募集に向けても学校全体の問題として取り組んで行く必要がある。

委員からの意見：

- ・ 各企業等において取り組まれている女性職員を取り巻く労働環境など述べていただいた。（企業では、女性が働きやすい労働環境を整えるために改善を図っている。）

(6) 教育環境

特記事項：

- ・ エアポートサービス学科の海外研修から国内研修への変更について

委員からの意見：特になし

(7) 学生募集

特記事項：

- ・ 定員に対する充足率を向上させることが第一となる。

- ・ 卒業者数と同数の入学者を確保
- ・ 2018年問題など取り巻く環境に対応していかなければならない。
- ・ 佐賀で学ぶメリットをガイダンス等で学生・保護者に届ける。
- ・ 在校生の母校訪問の実施

委員からの意見：

- ・ 高校の先生（進路・担任・部活）との連携を強化するなど積極的な活動が必要
- ・ 提携アパート等が綺麗だとイメージが良くインパクトがある。
- ・ 企業も人材不足に苦慮している中、依然、大学進学率が高水準で推移している環境に対応する対策が必要
- ・ 過年度の情報収集と在籍者数について

(8) 財務

特記事項：

- ・ 財務基盤を盤石にするため学生募集を強化する。

委員からの意見：特になし

(9) 法令等の順守

特記事項：

- ・ 法令・設置基準並びに自己評価の公開等は、これまでどおり引き続き遵守していく。

委員からの意見：特になし

5. 学校関係者評価総括

本日の委員会で、皆様方より賜りました貴重なご意見を今後のより良い学校づくり活かし、自己点検評価が真に役立つものとなるよう引き続き努めてまいります。